研修カリキュラム

防災活動に必要な能力を確実に身につけるために、受講者が強化したい内容に応じて各コースを自由に選択し、組み合わせて履修できます。それぞれのコースを履修することにより、「防災スペシャリスト」が実施する防災活動を体系的に身につけることができます。

※ 研修カリキュラムは、変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10 律、計画を学びます。

応急対策の実態

日びます。

大規模災害の検証と対応

日

	【平成29年度 第	ノー・ 1期)		※ 研	f修カリキュラムは、変更 c		
		ェ州』 応の基礎を学びたい方	を対象とします		◇コースコーディネーター◇		
	1例火垒艇」火台对	ルの全域で于U72V7J	で対象とOより。 3	4	牛山素行(静岡大学) 5		
	09:30-10:45	_ 11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30		
9	防災基礎総論		ハザードのメカニズムと実態		地域の脆弱性と被害の実態		
月 7 日	防災・危機管理の基本的な考 え方を学びます。	ハザードのメカニズムと災害による	被害や防災対策を学びます。		人的被害の実態や地域を知ることの重要性を理解し、防災情報に基づく避難 のあり方について学びます。		
9	防災行政概要/災害	害法体系/防災計画	災害対応過程と筧	全体討論∙閉講			
月 8 日	害対策基本法・災害救助法など	舌動の基礎的な知識とともに、災 との災害関連法の体系や防災計	災害発生前後の地方公共団体 沿って学びます。	防災カアップのため、災害対応の基本につい て学んだことを、受講者が担当する業務にど のように反映させるのかを考えます。			
	「災害への備え」災	◇コースコーディネーター◇ 丸谷浩明 (東北大学)					
	1	2	3	4 14:45 16:00	5		
	09:30-10:45 「災害への備え」総論	11:00-12:15 行政のBCM	13:15-14:30	14:45-16:00 企業防災	16:15-17:30 「災害への備え」ワークショップ(演習)		
9 月	自助・共助・公助による減災や	行政におけるBCMの意味と策定	住民向けの防災の啓発と地域	企業が災害時に果たすべき役割を認	地方自治体の防災行政における自助・共		
12	被害予測など減災対策の基本的な考え方を学びます。	のポイントについて学びます。	の防災訓練の基本的な事項について学びます。	識し、企業と行政が連携した防災活動について学びます。	助・公助の実践的な推進の仕方について ワークショップ形式で学びます。		
9	「災害への備え」としての地域防災計画	防災教育・災害教訓の伝承	地域の自主的な防災活動	災害ボランティア	全体討論∙閉講		
	自治体が地域防災計画や地区防災計画を 具体的な施策として、どのように災害の備え に活用するのかを実践的に学びます。	地域に根差した防災活動を実施 するための防災教育および災害 教訓の伝承について学びます。	住民の自主防災組織、地域の 企業やNPO等の自主的な防 災協力ついて学びます。	災害ボランティアや企業、市民 団体、個人等の自発的な防災 協力について学びます。	防災カアップのため、減災対策について学 んだことを、受講者が自らの地方自治体で どのように反映させるのかを考えます。		
◇□-スコー 「警報避難」警報の伝達や住民の避難誘導対策を学びたい方を対象とします。 #ノロ宗成							
	09:30-10:45		13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30		
9	警報避難総論	警報等の種類と内容	避難勧告等の判断・伝達	風水害における警報と避難	風水害におけるタイムライン計画(演習)		
月 14 日	警報避難対策の基本的な考え 方と事前対策を学びます。	警報等の種類と内容、伝達について学びます。	風水害における避難勧告等の 判断と伝達方法について学 ぶ。	風水害における警報と避難の実 務について学びます。	風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学びます。		
9	土砂災害における警報と避難	土砂災害の事例に学ぶ(演習)	避難場所・避難所の認定	避難場所・避難所の適否判断演習	全体討論·閉講		
月 15 日	土砂災害における警報と避難 の実務について学びます。	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学びます。	住民等の避難行動の目的と なる避難場所・避難所の種類 とその設置要件を学びます。	災害ごとに避難場所・避難所の 適否判断をするうえでの行動を 演習形式で学びます。	防災カアップのため、警報避難について学ん だことを、受講者が担当する業務にどのように 反映させるのかを考えます。		
	◇コースコーディネーター◇コースコーター◇コースコースロージャルのオースロースローター◇コースローター						
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30		
9	応急活動・資源管理総論	初動対応における国との連携	地方公共団体間の相互応援と受援に画	活動拠点・環境の確保	資源管理演習		
月 20 日	応急活動の流れと資源管理に 関する基本的な考え方につい て学びます。	国における初動対応の内容とそ の連携のあり方について学びま す。	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援計画について学びます。	応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等 の確保について学びます。	災害対策本部における資源(人的、物的、空間・サービス)の確保、管理における留意点などを演習形式で学びます。		
9	災害廃棄物処理	救援物資の調達	救援物資の輸配送	救援物資ロジスティック演習	全体討論·閉講		
月 21 日	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意 点を事例に基づき学びます、	救援物資の調達に関する実務 と課題について学びます。	救援物資の輸配送に関する実務 と課題について学びます。	救援物資の調達から輸送・保管・配 布における留意点などを演習形式で 学びます。	防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な 応援体制について学んだことを、受講者が担当する 業務にどのように反映させるのかを考えます。		
	「被災者支援」被災者支援を学びたい方を対象とします。 1 2 3 4 5						
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30		
9	被災者支援総論	災害救助法と生活再建支援法	避難所のライフサイクル	避難所運営の実際	避難所のライフサイクル(演習)		
月 26 日	被災者支援の実態と被災者支 援の全体像を学びます。	被災者支援における災害救助法と 生活再建支援法の位置づけや各制 度、手続き、適用事例を学びます。	運営体制の確立と避難所の運営、被災者のニーズへの対応から避難所の解消までの避難所のライフサイクルを学びます。	事例を基に避難所運営の実際 を学びます。	避難所のライフサイクルを演習 形式で学びます。		
9	避難生活の支援	医療による被災者支援	多様な主体による被災者支援/被災者支援の個別課題	生活再建支援業務	被災者支援のタイムライン策定(演習)/全体討論		

月 災害時要配慮者を始めとする 医療チームの活動と医療支援 専門職能における被災者支援と 家屋の被害認定から罹災証明の 避難所運営と被災者支援につい

27 避難生活への支援対策を学び のサイクルなど医療による被災 被災者支援の個別課題を学びま 発行と罹災証明を基にした一連の て学んだことをもとに被災者支援

す。

生活再建支援業務を学びます。のタイムラインを策定します。

者支援を学びます。

日ます。

	「復旧・復興」復旧	から復興政策を学びた	い方を対象とします。		◇コースコーディネーター ロサー (日)・ナー学
	1	2	3	4	中林一樹(明治大学 5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
10	復旧・復興総論	公共基盤の復旧(基盤復興 [)	仮設住宅(生	生活復興 I)	コミュニティ再生(社会復興)
₹ .6 ∃	被災者・被災地の復旧・復興 の理念とプロセスの全体像につ いて学びます。	被災地の再建・復興の基盤となる、道路・公園・基盤施設・農業施設など公共 インフラの復旧について学びます。		げ応急仮設住宅(見なし仮設)及び仮 すの役割分担、建設用地の選定や確 藤事例に基づき学びます。	地域社会の再生(つながり・コミュニティの継続と活性化)について 事例を通して学びます。
.0	市街地の復興まちづくり(基盤復興Ⅱ)	住まいの再建(生活復興Ⅱ)	地域産業の復興と雇用確保(産業復興)	復旧·復興演習(復興計画の策定体制)	全体討論∙閉講
7 3	土地区画整理事業など市街地の基盤 を再整備する復興まちづくりの意義と課 題を事例に基づいて学びます。	被災者個人の生活再生とその基盤となる被災者の住まいの再建について体系的に学びます。	地域社会の活力と被災者の雇用確 保のための産業復興について事例に 基づいて学びます。	被災地域における災害復興を総合的 に推進するための復興計画の策定に ついて演習形式で学びます。	復興力アップのために、学んだ復旧復 興対策を事前にどのように準備してお くのか、事前復興について考えます。
	「指揮統制」指揮統	制と災害対策本部運営	を学びたい方を対象と	します。	・ ◇コースコーディネーター◇
	1	2	3	4	林春男(防災科学技術研究所) 5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
0	指揮統制総論	指揮統制	側の現状	指揮統制の世界標準	日本社会に適した指揮が制のあり方
∃ 3 ∃	災害対策本部組織を統制して いくための理論を学びます。	大規模災害を経験したトップが指	揮統制の本質を語ります。	世界標準における危機対応組織 の仕組みを学び、リーダーに求め られる4つの役割を学びます。	危機対応組織に求められる各 スタッフの役割と機能について 学びます。
0	リーダーシップ	参謀にとっての災害対策本部運営	や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。		全体討論∙閉講
ŀ	リーダーシップの理論と指揮命 令を行うための要求事項を学 びます。	危機対応組織のトップがどのように災害対策本部を運営してい くのかについて学びます。			防災力アップのため、指揮統制について学 んだことを、受講者のそれぞれの組織でど のように反映させるのかを考えます。
		□₼ノᲐ╁╴レ፵४‹‹‹□±₼‹‹‹ѣѣ	<u> </u>	たが色し ナナ	◇コースコーディネーター〈
_	1 刘宋公杀」"奴火(人)	兄の分析と発災時の災害対 ?	東 <u>以条十</u> 法で子(ソ)にいり 3	で対象としまり。 4	林春男(防災科学技術研究所) 5
	09:30-10:45	11:00 - 12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
0	対策立案総論	計画立案プロセス	地図による状況認識の統一	災害対策本部運営演習	
月 5 日	災害対応における作戦の立案の 考え方と情報統括、活動サイク ル、体制について学びます。	「当面の実行計画(インシデント・アケション・プラン)」の果たすべき役割と基本的な 構造、立案のプロセスについて学びます。	統合された情報システムとGIS の活用の有効性について学び ます。	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検 討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議に おいて対策を決定する手法を学びます。	
10	月 災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、災害対策本 5 部マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に演習形式		応急期の政府支援 各省庁から提供される具体的な支援の内容について学びます。 (政府の全体的な初動対応は資源管理コース「初動対応おける 国との連携」で学べます。)		全体討論∙閉講
月 6 日					災害対応マネジメントにおける計画立案に ついて学んだことを、災害対策本部運営に どのように反映させるのかを考えます。
1	「人材育成」災害対	応における人材の育成	を学びたい方を対象と	します。	
	1	2	3	杰 四 4	年可(月内科子総合センター) 5
		44:00 40:45	13:15-14:30	14:45-16:00	10:15 17:00
	09:30-10:45	11:00-12:15	13-13-14-30	14.40-10.00	16:15-17:30
10 月	人材育成総論	11:00-12:15 訓練・研修の実際	地域防災リーダーの育成	訓練企画運営実践	

	月訓練手法のうち状況付与型図上	(状況付与型図上演習) 訓練の一つである、災害対策本部運 『まなシナリオを用いた状況付与型図	訓練・研修企画手法 防災訓練・研修を企画する際 のポイントを学びます。	人材育成プログラム作成演習・閉講 様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムの作成手 法や留意点について学びます。		
>	「総合監理」防災政	◇コースコーディネーター◇岩田孝仁(静岡大学)5				
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30	
	10 総合防災政策	総合的な被害抑止施策の実施		リスク評価に基づく災害対応の検証	防災政策演習	
	月 総合的に防災政策を推進していてとの基 12 本的な考え方を予防対策から応急対策 日 への流れに沿って学びます。	砂災害、地震、緊急輸送路に対する対策について学びます。		防災アクションプランの意義と策 定方法、事業評価の手法につ いて学びます。	具体的な被害想定を基に、どのよう な防災政策を立案して推進していく べきかを演習形式で学びます。	

月 災害対策本部における重要業 大規模災害がどのように検証され、どの 災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウト 総合防災政策立案について学んだこ

13 務と応急活動の実態ついて学 ような対応方針が示されているのかを学 など事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと とを、受講者がそれぞれの組織でどの

び、今後の災害への反映を考えます。 心構えを演習形式で学びます。

手法を学びます。

施している訓練の事例を学びま┆成の意義と研修の企画、実施┆ダビューによる追体験演習を経験するとともに、さまざまな素材を

災害対策本部体制

用いたケースメソッドの考え方を学びます。

全体討論·閉講

ように反映させるのかを考えます。